

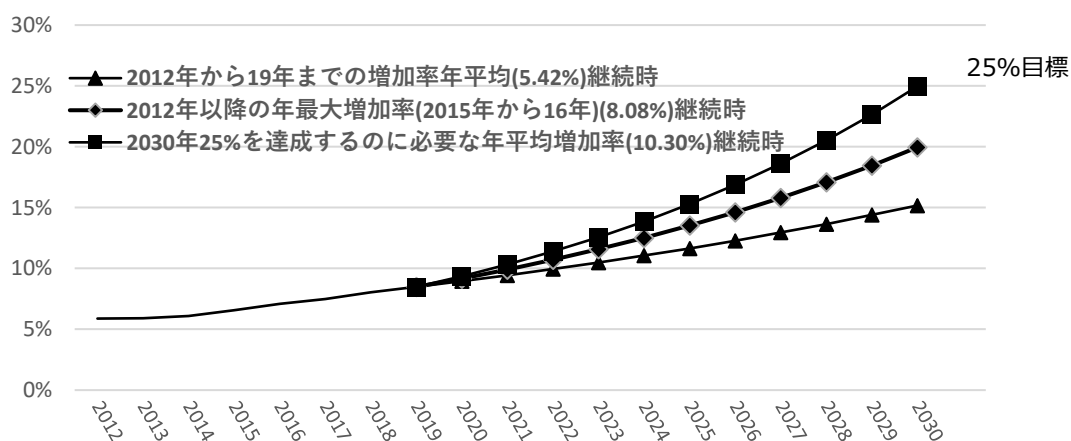
「Farm to Fork(農場から食卓まで)戦略」 にみる EU の有機農業拡大に向けた課題と 今後の展開の方向性

2020 年 5 月に欧州委員会が公表した「Farm to Fork 戦略」（以下「F2F」）は、持続可能な経済社会に向けた包括的な構想である「欧州グリーン・ディール」を実現するため農業部門において核になる戦略です。

F2F においては、生産から消費までのフードシステムを公正で健康的で環境に配慮したものにすることを目指して、多くの分野で野心的な目標等が示されています。その一つとして「2030 年までに全農地の 25%を有機農業とするための取組を後押し」するとの目標があります。実績値を踏まえ三つのシナリオを基に試算した結果（図表）、目標実現に向けては、増加ペースの大幅な加速が必要であることが明らかとなりました。EU 域内全体として、消費・生産両面から、いかにバランスある発展を拡大的に実現していくかが課題です。

今後、市場環境整備等の適切な制度設計、消費者からの信頼確保や生産意欲の増大等に向けた支援施策の充実、CAP 戦略計画(2023 年開始予定の次期 CAP 下で EU の各加盟国が示す農業政策上の具体的計画)を通じた効果的な政策運営の実施等が必要と考えられます。

図表 EU27 か国の有機面積割合「25%目標」と増加率 3 ケースの試算



	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2027	2030
2012年から19年までの増加率年平均(5.42%)継続時	8.5%	9.0%	9.4%	9.9%	10.5%	11.1%	11.7%	13.0%	15.2%
2012年以降の年最大増加率(2015年から16年)(8.08%)継続時	8.5%	9.2%	9.9%	10.7%	11.6%	12.5%	13.5%	15.8%	20.0%
2030年25%を達成するのに必要な年平均増加率(10.30%)継続時	8.5%	9.4%	10.3%	11.4%	12.6%	13.9%	15.3%	18.6%	25.0%

資料：Eurostat, Devuyt（2020）を基に算出の上、作成。

注. 2020 年以降の試算値を用いるに当たって使用された数値のうち 2019 年の数値は見込み値。

この成果の詳細については、農林水産政策研究所 Web サイトをご覧ください（以下参照）。

●令和 2 年度カントリーレポート

プロジェクト研究 [主要国農業政策・貿易政策] 研究資料 第 5 号（2021 年 3 月）

https://www.maff.go.jp/primaff/kanko/project/attach/pdf/210331_R02cr05_02.pdf

●農林水産政策研究所レビューNo.101（2021 年 5 月）

https://www.maff.go.jp/primaff/kanko/review/attach/pdf/210531_pr101_03.pdf